



- ◆国際ロータリー会長 ステファニーA.アーチック
- ◆第2660地区ガバナー 大橋 秀典
- ◆クラブテーマ「言葉ではなく行動で」

本日例会 2024年 7月18日(木)第974回

「第1回クラブ協議会」

議長：長野 良雄 会長

前回例会 2024年 7月11日(木)第973回

1. 開会 会長
2. ロータリーソング「それでこそロータリー」
3. お客様のご紹介
郭 錦堂様 (台中文心RC)
頼 育萱様 (関西米山学友会直前会長)
米山奨学生 宋 ハヌルさん
4. ニコニコ箱報告(小計6,000円 累計30,000円)
福田会員 郭さん、頼さん、よろしくお願ひします。
長野会員 郭様、頼様、来会楽しみにしていました。
5. 会食
6. 委員会報告
社会奉仕委員会 藤井俊章委員長
①「ダメ。ゼッタイ。」募金実施の件 (7/11の募金額 12,000円)
②秋のライラ出欠確認回覧
7. 幹事報告
① 回覧 8/22親睦食事会出欠確認回覧
② 7/18(木) 第1回クラブ協議会開催連絡
8. 出席報告 (会員総数17名)
7月11日 出席11名 欠席6名 出席率64.71%
メイクアップ報告なし
9. 会長の時間
10. 本日のプログラム
担当：クラブ運営委員会
卓話：「米山奨学生その後の活躍」
卓話者：福田 治夫会員
11. 閉会 会長

会長の時間 「危機管理委員会」

ハラスメント相談窓口

当地区では、出来るだけ早い段階で対応し出来る限り被害の拡大を防ぐことを目的に、2018-19年度よりガバナー事務所に「ハラスメント相談窓口」を設置しています。危機管理に留意した安心・安全なクラブ運営を心がけ、健全なクラブ環境を維持・推進されますことを期待しております。

○第2660地区 青少年のための

ハラスメント相談窓口

国際ロータリー第2660地区には「ハラスメント相談窓口」があります。

第2660地区のプログラムに参加する青少年の皆さんが日本にいる間、安心して過ごせるように、何でも相談できる窓口です。もし、皆さんがロータリークラブやロータリークラブの行事に参加したときに、疑問や不安なことがあって、カウンセラーやロータリアン、ホストファミリーに相談しにくいことがあるときには、この相談窓口にもメールを送ってください。英語でも日本語でも大丈夫です。相談員が皆さんのプライバシーを守って対応します。

第2660地区 青少年のためのハラスメント相談窓口専用メールアドレス

anytime@ri2660.gr.jp

INFORMATION

◆7月の休会◆ 7月25日(木)細則休会

次回例会 2024年 8月1日(木)第975回

「ガバナー公式訪問」

2024～2025年度

国際ロータリー第2660地区

ガバナー 大橋 秀典 様

卓話 「米山奨学生その後の活躍」

福田 治夫 会員

最初に所用で来阪している郭 錦堂（カク キンドウ）ロータリーネーム ヘルスさんの自己紹介と所感です。

中華民國台中市出身、北里大学に留学し米山奨学生となり、世話クラブは相模原RC。台湾台中市にある中国医薬大学の教授として活躍し定年を迎えた。現在69歳、米山奨学生を中心として2006年に設立された台中文心RC初代会長である。文心RCは50名で、そのうち女性は15名である。友好クラブは相模原中RC、豊田中RCで、大阪うつぼRCと友好クラブ協議中である。中華民國ロータリー米山会8代目理事長を歴任された。米山学友会として最初に設立された会で昨年40周年を迎えた。日本から台湾への留学生に、2009年から奨学金30万円を通算54名に授与している。また、韓国の米山学友会ともよく交流をしている。日本で米山奨学金を受けたことで安心して勉強ができた。その恩を送るためである。

次に米山奨学生学友会(関西)の頼直前会長です。

「米山になって学んだこと&

関西米山学友会40周年告知」

米山奨学生学友会(関西) 頼 育 萱

皆さん、こんにちは。関西米山学友会から来ました頼育萱と申します。本日御クラブで卓話の機会を頂きましてありがとうございます。

2002年勉学のため日本にきました。奈良教育大学在籍中2006年度の新規奨学生として第2650地区、奈良大和西和RCに一年間お世話になっておりました。私が日本に留学するきっかけは1999年9月に発生した台湾中部地震でした。地震が発生したのは夜中でしたが、当日に早くも日本からの救援隊が駆けつけてくれました。懸命に救助活動をして下さっている姿を見て、とても安心して感動しました。その光景を忘れられませんでした。日本人のことをもっと知りたいという強い思いがきっかけとなり、私は日本に留学する決意をしました。

米山奨学生になって沢山のことを学ぶことができました。そのうち、最も影響が大きかった3つを紹介したいと思います。

1、コミュニケーション能力です。

大勢の人たちの前で喋ることが苦手でしたが、卓話やロータリアンたちや奨学生たちとの交流を重ねるうちに、少し慣れてきました。

特に学友会の会長になってから、自分の意見を発信するコミュニケーション能力を学びました。ここで培った能力で、今の職場でも生かしています。

2、ロータリアンの姿勢と寛大な心を通じて「包容力」を学びました。

ロータリークラブは日本人学生の海外留学だけではなく、私達のような海外からの留学生に対しても経済的な支援などを継続的に行っています。また、私たち奨学生が有意義な経験を得られるよう、様々な交流イベントを開催して下さっています。おかげさまで、私は各国の奨学生たちと友達になって、世界の友の輪を広げることができました。

3、ロータリークラブの主旨、「ご奉仕の精神」を学びました。

世話クラブのロータリアンたちと何度も老人ホームや養護学校に訪問する中で、また現在所属している関西学友会での活動を通じて、ご奉仕の価値を知り、自信と心の豊かさを得ました。

奨学生修了式に頂いた証書は今も玄関に飾っており、心の支えとなっています。私はそれを一生の誇りとして日々頑張っています。私の簡単な自己紹介は、以上です。

関西米山学友会は来年40周年を迎えることになりました。記念事業として4つの取り組みをしていきます。40周年特集発刊、未来を担う子供たちを万博へ参加のサポート、健康づくり、そして記念式典を行います。記念式典は2025年7月6日(日)午後3時より、シェラトン都ホテル大阪にて開催する予定です。皆様のご参加をお待ちしております。よろしくお願いたします。

日本全体で2万人超の奨学生の世話をしてきたわけですが、いろいろな方がおられます。森を見ず木だけを見て「奨学生はだめだ」の意見もありますが、彼らのように森を支える木として頑張っている方も多いので今後とも米山奨学生制度の応援をお願いします。



頼 育 萱 様 郭 錦 堂 様